



わかしよ

〔学校教育目標〕

- かしこい子ども
- 美しいものに感動する子ども
- 思いやりのあるやさしい子ども
- たくましく生きぬく子ども

文責

校長 時田直人

授業参観ありがとうございました

9月28日のふれあい道徳の授業参観に来校していただきありがとうございました。どの学年も落ち着いて授業に向かう真剣なまなざしが見られました。子供たちもお家の方が見に来てくれて、いつも以上に張り切っていたことと思います。またその後の教育講演会にも参加していただき、ありがとうございました。講演会では山梨大学の栗田先生より、子育てをするうえでとても大切な話を聞かせていただきました。「生まれてきてくれてありがとう。」もう一度子育ての原点を感じることができました。保護者の感想を一部掲載します。



○子供には自己肯定感を高く持って育ててほしいので、改めて「生まれてきてくれてありがとう」の気持ちをしっかり言葉で伝えていこうと思いました。

○感情的になってよく怒ってしまいますが、私の口調をまねて、息子を通して誰かを傷つけることがあるかもしれないと、話を聞いて怖くなりました。勉強ができないことがあっても、家族が具合悪いときに声をかけてくれる子と言う話がありました。その通りだなと思いました。

○産まれてきてくれてありがとう！一日一回必ずグーッとします。

○心の中で相手の良さを認めていても、伝えていないなら相手を大切にしているつもりでも伝わらない気がしました。まずは相手を肯定的に見ること、そして相手に伝えることすぐに実践しようと思います。

○講演会終了後、すぐに実践し、少しずつですが腹式呼吸をしながらイライラを抑えて、「早くして」も言葉を変えて促すようにしています。そして「生まれてきてくれてありがとう。」としっかり言葉に出して伝えるようになりました。

○親というのは子供にとって一番身近な大人で、一番長い時間接する存在です。だからこそ子供への言葉かけ、態度、表情はその子どもを形成していく上で最大の影響力を持っていると常日頃考えています。

○子育ての中で「私にとってこの世で一番大事な子供なのに、なんであんな言い方をしてしまったんだろう。一番守らなきゃならない存在なのに感情的になってしまった。」と深く反省し、かなり落ち込むときもあります。「子どもがキラキラ輝ける場をサポートしたい。」という私の信念を忘れずにいたいです。

○子供に対する悩みや心配事は、私自身が勝手に作りだしているものであるという事もわかり、気持ちが楽になりました。

○これから私が子供に特にしてあげたいことは、「アイ(私)メッセージ」 “過去の子供と比べて認める” “子供と一緒にの反応”です。まずは「～できたんだね。」や「～したんだね。」と事実を認めてあげられる言葉を多くかけていきます。

○感情的になりそうなときは、腹式呼吸と作り笑いをすること。子供の話し方に合わせてうなずきながら同調すること。子供に上から目線で命令せず、どうして欲しいか理由と気持ちを伝えること。

たくさん感想ありがとうございました。また良い講演会を企画していきます。ぜひご参加をお願いします。

チャレンジ集会を行いました。

各色たてわり班ごとの別れ、チャレンジ集会を行いました。6年生を中心にみんなで仲良く楽しくゲームができました。「射的が面白かった。」「みんなでいろいろなゲームにチャレンジできて楽しかった。」とたくさんの声が聞こえてきました。児童会本部、6年生を中心に全校のみんなの素敵な笑顔が見られました。



6年生の陸上記録会練習が始まりました。校庭の使用が制限されているため、市民グラウンドや若草中を借りて練習しています。今後、中学生の陸上部の生徒にも指導をお願いしています。また、若草南小とオンラインでエール交換を行う計画もあります。6年生、新記録目指して頑張ろう。



10月10日の様子

仮設校舎の中を見学させていただきました。たくさんの資材が置かれていました。電気工事、内装工事が進められています。